

むらさき会だより

2024年版
No.28
令和6年9月1日発行



100th
Anniversary
YAMAMURA GAKUEN

大正11年9月1日 創立者 山村 龍一が「裁縫手芸伝習所山村塾」を開校
(学校法人山村学園創立80周年記念誌より抜粋)

令和5年11月14日(火)に
ベルーナドーム(西武ドーム)にて
創立100周年記念祭が開催されました。
山村学園高等学校・山村国際高等学校・
山村短期大学の在校生、現職員や来賓をはじめ、
卒業生、旧教職員が一堂に集まり、
総勢4,500名の皆様が集まる壮大な記念祭になりました。
大野知事の祝福のビデオメッセージをはじめ、
両校の硬式野球部の交流試合、
現役生全員がグラウンドで集まり
クイズや大玉送りを行いました。
さらには短大・高校のパフォーマンスが
披露されました。





山村学園むらさき会
会長 田中 久子

ご挨拶

新緑の薫る季節となりました。むらさき会の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、会員の皆様、山村学園を卒業されて何年経ったか数えたことがありますか。母校山村学園は、昨年11月14日ベルーナドームにおいて、創立百周年記念式典が開催されました。第一部の記念式典、第二部は三校在校生の実行委員会の企画運営により、大いに盛り上りました。次の百周年に向けての第一歩を踏み出す記念すべき一日となりました。むらさき会も後援させていただき、改めて皆様にご報告申し上げます。

創設者山村みよ先生は、大正11年9月1日、女性の経済的な自立を目指し、自宅に「裁縫手芸伝習所山村塾」を開設しました。今日に至るまで百年、大正、昭和、平成、令和と四つの時代を渡り歩んで参りました。移り行く社会の中、様々なことに取り組み、現在の山村学園となりました。

理想を求め、伝統を受け継ぎ巣立ったむらさき会員の皆様と共に、母校の百周年をお祝申し上げます。

むらさき会も、コロナ禍の中活動も狭まりました。今後、新たな気持ちで会員皆様と親睦を深め、皆さんと共に歩んでまいりたいと願い、ご挨拶いたします。(5月記)

校歌

一 富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつゝ
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきを
名は山村よ我等の学舎

二 清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探らん
名は山村よ我等の学舎

三 初雁おとのお武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつゝ
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎



山村学園
理事長 岡 實 先生

次の100年に向けて

まず令和元年より準備を始めた創立百周年記念行事は昨年度のベルーナドーム(西武球場)での記念祭開催、今年二月の記念誌発刊により盛大且、成功裡に終了しました。開催に向けたむらさき会のご協力に感謝申し上げます。記念式典の式辞で次の百年に向けて発展をすると述べましたが、少子化が進み今年度も公立高校六校の募集停止の現実を見ると険しい道程ですが乗り越えねばならない道です。高校選定の基準は多いが、

- 一、大学進学に有利か。
- 一、将来に向けてどの様な力、能力を付けれるか。
- 一、自分を燃焼させるモノに出合えるかは大きな要素です。この三つに特色を持たせ推めます。

山村学園は同窓生の保護者の多い学校です。
今年もご理解、ご協力をお願い致します。

2024年むらさき会 懇親会開催予定について

日時:令和6年11月24日(日)
場所:川越プリンスホテル

詳細につきましては、決まり次第HP等でご連絡いたします。



※令和6年度の総会につきましては、6月28日に常任委員のみで執り行いました。

むらさき会 相談役

山村 寛先生を偲ぶ

山村寛先生、最後まで気になさっていた創立100周年記念式典及び記念祭は、素晴らしい内容となりました。二部の記念祭は、山村学園三校の実行委員会の活躍でプログラムが生まれ、その都度会場からの盛大な拍手が今も心に残っています。ふと、先生がこの会場にいらっしゃったらと、思いを馳せました。

先生には、退職後むらさき会の相談役として、大変お世話になりました。

何のためらいもなく、「寛先生、寛先生」とお呼びしてとても身近な存在でした。「むらさき会だより」には、学園の歴史、ご自身の近況の寄稿をいただきました。また、むらさき会総会にも毎年ご出席下さいました。そして、自身の日常生活、親しい方との旅行された話、趣味の写真の話など今となっては貴重な思い出となりました。特に、富士山の写真の話では、楽しそうに話される先生の姿は、印象的でした。

先生、ご安心下さい。むらさき会も100周年を区切りとして、更に、母校山村学園を後援してまいります。

むらさき会 会長 田中久子

山村寛先生は、私が山村女子高等学校商業科3年生の担任の先生でした。教科は、商業一般を担当。昭和39年(1964年)4月のことです。(もう60年も前のこと)

当時、学校は新校舎の建築で体育館の一部が職員室になり、卒業時には、完成間もない校舎を前に記念撮影、後輩に夢を託して学び舎を後にした思い出があります。現在は、当時の校舎はすべて残っていませんが…。

当時、3年A組の学級委員・生徒会長でしたので、クラスの連絡・生徒会の連絡等で寛先生には、丁寧にやさしくご指導を頂いたことを思い出します。また、埼玉県私立高校の



2012年6月2日 懇親会にて



2013年6月3日 総会にて

代表(他校1名)として東京オリンピックの開会式に参加の機会を頂いたことは、進路選択に多大なる影響を与えてくれました。

おそらく、寛先生が担任をされた最後のクラスではないかと思っています。

同窓会、法人の評議委員会等でお逢いした時には、いつも声をかけて頂き、年賀状には近況や富士山の写真があり、毎年楽しみにしていました。年賀状も多くの写真も私の宝ものです。

感謝を込めて…有難うございました。

むらさき会 副会長 野島康子

私は母の勧めもあって昭和25年4月、学園の発祥の地である川越市小仙波町にあった、開校から2年目の山村中学校に入学いたしました。

その中学校で1年生から3年生まで担任をしていただいたのが、創立者の山村ぬみ先生のご子息である山村寛先生でした。

寛先生は、いつも穏やかで非常に優しい先生でした。20代前半のバイタリティ溢れる先生でしたが、生徒を頭ごなしに怒ったことは一度もないと思います。また、寛先生はアウトドア派の一面もあり、山歩きが大好きで、弟の山村健先生とともに生徒達をよく山歩きに連れて行ってくださったことも楽しい思い出となっています。

むらさき会の活動等を通じて、寛先生とは長年にわたり交流をさせていただき沢山の思い出があります。

本当にありがとうございました。

むらさき会 前副会長 伊藤勲子



2007年6月8日 川越校体育祭にて



2008年6月28日 懇親会にて(校歌斉唱)



山村学園高等学校
校長 平野 正美 先生



「不易と流行」を見据えた教育を

むらさき会の皆様には、日頃から本校に対してご支援・ご協力をいただきますことに、心より感謝申し上げます。学校といたしましては、そのご恩に報いるためにも新たな時代に向けて、より地域に期待され信頼される学校づくりを進めてまいります。

そのためには、「不易と流行」を見据えた教育を実践することが大切になります。

いつの時代も変わることのない本校教育の「不易」は、人間教育であり、文武両道であり、社会に貢献する人材の育成です。換言すれば、校訓の「質実」「英知」「愛敬」の実現になります。

このことを本校教育の基礎として、その時々に応じて変わる「流行」を時代の先を見通しながら育むことが重要になります。I C T教育、グローバル教育そして探究活動などは、次代を担う若者たちに欠かせない資質・能力を育成します。

すでに、生徒個々はタブレットを持ち、各教室には電子黒板が設置され、校内の Wi-Fi環境も整いました。海外研修旅行や姉妹校へのターム留学など国際化に対応した様々なプログラムや、知識を活用して思考力や表現力を育成する探究活動も進めています。

本校の伝統で築かれた「不易」と新たな取組み「流行」が地域に高く評価され、今年度は1,500名近い生徒でスタートいたしました。

最後に、令和5年度の文武の実績について記します。

進学実績は、筑波大、お茶の水女子大、千葉大等国立大13名、早慶上理14名、G M A R C H +同志社48名をはじめ、98.6%の生徒が現役で進学し、85.1%が4年制大学に進みました。

部活動では、バトン部(昨年度に続き全国4大会制覇)、硬式テニス部(団体出場、個人ベスト16)、ダンス部、剣道部(男子団体・女子個人)、少林寺拳法部が全国大会で活躍し、関東大会には上記の部活動に加えて弓道部も出場しました。

第1グラウンド(月吉)の人工芝化も完成し、体育の授業や関係部活動の環境は整えられました。昨年度寄贈いただいた自習室も毎日多くの生徒に利用されています。創立100周年を機に生徒たちが文武にわたり新たな歴史を刻んでくれるものと期待しています。

学校法人 山村学園
山村国際高等学校



山村国際高等学校
校長 中山 達朗先生

100年の歴史と伝統を次世代に継承

春暖の候、「むらさき会」の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

特に、学園創立100周年記念祭では、記憶に残る素晴らしい記念祭が開催できましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、田中久子会長ご臨席の下、3月3日には第73回卒業式を挙行し、231名の生徒が新たな夢を追求め本校を巣立っていきました。同じく、4月7日には第74回入学式を執り行い、希望に燃えた269名の新入生を迎えることができました。

こうした中、学校の教育活動のご報告として令和5年度の進路並びに部活動実績について申し上げます。

進学実績における国公立大学では、埼玉大学・埼玉県立大学・茨城大学・富山大学・福島大学。難関私立大学では、早稲田大学・慶應義塾大学・東京理科大学・青山学院大学・明治大学・立教大学・法政大学・学習院大学・中央大学をはじめ、日東駒専・大東亜帝国などの中堅大学にも多くの合格者を輩出することが出来ました。

部活動実績では、運動部・文化部共に高い目標を掲げ日々の練習・研究・稽古に励み、ダンス部、吹奏楽部、バトントワーリング部、生物部、男子ソフトテニス部、放送部が全国大会に出場することが出来ました。そして吹奏楽部の打楽器アンサンブルコンクール最優秀グランプリ賞受賞、バトントワーリング部の金賞受賞、生物部のカカオポリフェノールによる日焼け予防研究における「ジュニア日本農芸化学会」での金賞受賞、イラスト部の色調整が難しい岩絵の具を駆使した絵を仕上げたことによる埼玉県知事賞受賞などは、県内外問わず各方面から賞賛されておるところです。

こうした生徒の活躍は、「むらさき会」の皆様からの物心両面にわたるご支援の賜物でございます。引き続き、山村ぬみよ先生の教えを大切に、100年という歴史と伝統を次世代に継承し、母校の発展に教職員一同邁進して参る所存でございます。今後とも、山村国際高等学校へのご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(4月記)





山村学園短期大学
学長 野口 一夫 先生



新たな取り組み

梅雨空に紫陽花のブルーの色が生える季節を迎えています。本学は学園内の高等教育機関として36年目を迎えました。この間、計3,955名が卒業し、そのうち1,495名が保育・幼児教育の従事者となっています。

質実・英知・愛敬の校訓のもと、学園の創始者 ぬみよ先生が導かれたように、ひとり一人の学生を丁寧に指導することを本学の一番のモットーとし、日々邁進してまいりました。

本年度からの新たな取り組みとして、**小学校教諭2種免許状**、**特別支援学校教諭2種免許状**が取得できる道を広げました。星槎大学との連携協定により、在籍しながら通信教育課程を受講します。また「新たな資格」として「**あいさポーター**」「**視覚障害者スマートフォンサポーター**」「**保育ICT検定初級・コードモン検定**」「**地域子育て支援士**」の講習を受講することにより取得可能となります。

授業科目については、「Sustainable Campus 宣言」のもと、「**SDGsと教育・保育**」や「**ダイバーシティと教育・保育**」を設置し、東京ドームの1.5倍のキャンパスに棲息する動植物は直接実物に触れ観察する、まさに感性を磨く絶好のロケーションと言えます。学生が種や苗から植えた数々の野菜、とりわけポップコーンの成長が著しく2mを優に超え間もなく収穫を迎えます。自前の腐葉土作りもその一環となっています。

就職率に関しても、地域社会からの厚い信頼に支えられ、常に100%に近く、特に**公務員試験(保育士・幼稚園教諭)の合格率は、令和4年度 60% 令和5年度 87.5%**と飛躍的に向上しています。自治体によっては若干名しか募集しないところでも、川越市をはじめ熊谷市、ふじみ野市、新座市、狭山市、吉見町や東京豊島区などに複数合格、さらなる飛躍が期待されます。

日に日に緑が濃くなり、本学キャンパスでは朝早くからウグイスとガビチョウ(中国からの外来種)の競って鳴く声がこだましています。

本学では、常に現代的な課題を取り入れ、ひとり一人の多様なニーズに焦点を当て、それに応える短大としてこれからも邁進していく所存です。むらさき会の皆さんに置かれましては、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。(6月記)

むらさき会の100周年記念事業

山村国際高等学校

令和5年7月18日 学校法人山村学園山村国際高等学校第一グラウンド人工芝化の落成式が行われました。



図書館の机と椅子の新調に際して支援いたしました。

山村学園高等学校

教育環境を整えるため、懸念事項となっていた月吉グラウンドの人工芝化への補助を行いました。令和6年3月19日に完成式典を行いました。



進路実績

現役合格実績(2023年度)

山村学園高等学校

国公立 **13**名 GMARCH **46**名
(既卒6名含む)

早慶上理 **14**名 日東駒専 **83**名
(既卒1名含む)

【国立大学】4名

茨城大学(1名) 千葉大学(1名)
お茶の水女子大学(1名) 筑波大学(1名)

【公立大学】9名

釧路公立大学(1名) 公立諏訪東京理科大学(1名) 長野大学(1名)
埼玉県立大学(1名) 高崎経済大学(1名) 福井県立大学(1名)
三条市立大学(1名) 都留文科大学(1名) 前橋工科大学(1名)

【早慶上理】14名

早稲田大学(1名) 慶應義塾大学(2名) 東京理科大学(11名)

【GMARCH】46名

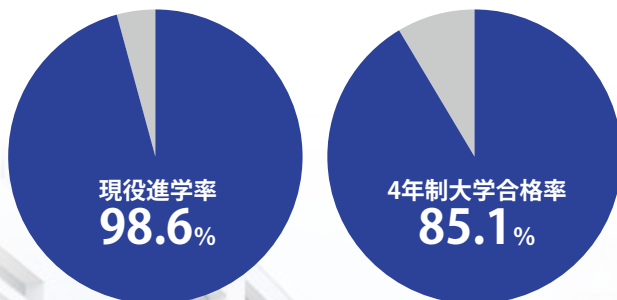
青山学院大学(3名) 中央大学(10名) 明治大学(4名)
学習院大学(4名) 法政大学(8名) 立教大学(17名)

【関関同立】2名

同志社大学(2名)

【日東駒専】83名

駒澤大学(12名) 東洋大学(41名)
専修大学(10名) 日本大学(20名)



山村学園高等学校 現役合格率98.6% 4年制大学合格率85.1%

山村国際高等学校

現役合格**307**名 国公立大**7**名・私立大**300**名

国公立 **7**名

早慶上理 **6**名 GMARCH **29**名

【国公立】7名

茨城大学(1名) 福島大学(1名) 都留文科大学(1名)
埼玉大学(1名) 埼玉県立大学(1名)
富山大学(1名) 高崎経済大学(1名)

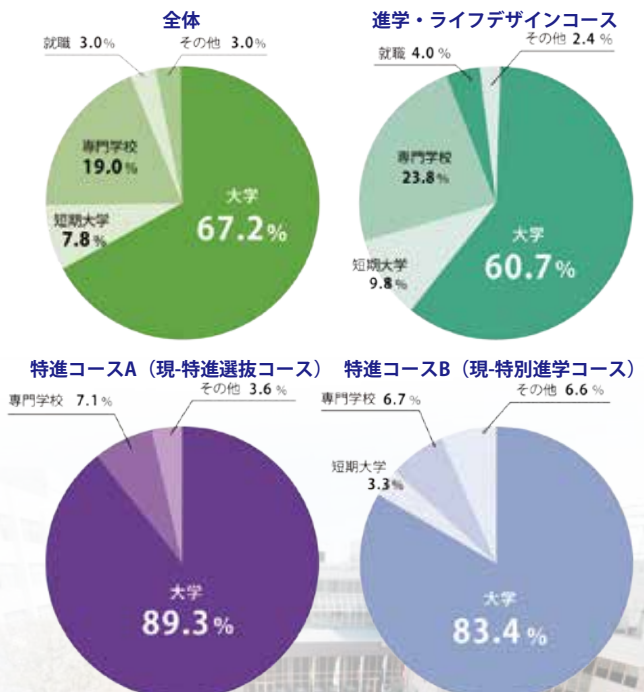
【早慶上理】6名

早稲田大学(1名) 慶應義塾大学(1名) 東京理科大学(4名)

【GMARCH】29名

青山学院大学(5名) 中央大学(2名) 明治大学(3名)
学習院大学(3名) 法政大学(8名) 立教大学(8名)

ほか 多数



むらさき会

同窓会むらさき会
HP(ホームページ)
を開設しました。
<https://murasakikai.com/>



HPのQRコード



100周年記念事業記念祭
学生・生徒実行委員会 実行委員長

伊五沢 翔さん

山村国際高等学校

高校生活を振り返ってみると、様々なことが思い出されます。
行事関係では体育祭、文化祭と例年通りとはいかずとも開催することができ高校生活の大切な思い出ができました。

他にも委員会活動や生徒会活動など沢山の経験を積むことができ、自分自身とても成長できたように感じます。特に100周年記念祭では4000人程の人達が集まる前代未聞の行事ということもあり、運営側としてとても緊張していましたが生徒教員全ての人ののおかげで100周年にふさわしい記念祭を作り上げることができました。

不安と期待を抱えて始まった高校生活は新型コロナウイルスの影響もあり想像していた高校生活とは少し違うようでした。そんな高校生活も友人や先生方など私の生活に関わる全ての人ののおかげで最高の思い出となりました。



原 好々花

杉山 優奈

バトン部

杉山 優奈さん

原 好々花さん

山村学園高等学校

山村学園高校での3年間は、とても充実したものとなりました。先生方が親身に相談にのってくださり、安心して学校生活を送れました。所属してきたバトン部では、高い目標を掲げ日々励んできました。活動する中で、自身の成長や一生の仲間の実感することができました。また、常に相手のことを考えて行動すること、努力をすれば結果がついてくることを学ぶことができました。ふじぞの祭では、一人一人が自主的に考えて行動することで、行事を成功させることができたと思えました。誰かに任せるとはではなく、みんなで協力することが大切だと改めて感じました。修学旅行では、海外に行くことはできませんでしたが、友達と楽しめたのはもちろん、原爆資料館では戦争の怖さなども学ぶことができました。将来の目標は、誰かを助けられる仕事をすることです。沢山の人の助けられてここまで来ることができたので、社会に恩返しできるようになりたいと思っています。

元山村学園高等学校 ソフトボール部顧問

藤田 大幸先生

元勤務校のソフトボール場が全面人工芝になりました。
そのお披露目も含めて5月5日にソフトボール部のOG会を開催しました。
昼の部はグラウンドでOG同士の紅白試合、その後OG選抜チームと現役チームとで本気の試合を行いました。

50半ばの大先輩から、この間卒業したばかりの学生まで、はつらつとプレーしていました。バットを持ってバッターボックスに入る姿やボールを捕って投げる姿は、あの頃と全く変わっていないようです。

夜の部は『ラ・ボア・ラクテ』で年代を超え旧交を温めました。2次会の焼き鳥屋まで大勢で楽しいひとときを過ごしました。

参加者は昼夜合わせて53名+ご家族でした。

高校時代の部活の仲間はいいですね。教員生活にピリオドを打った私にとって最高の時間をいただきました。



同窓会むらさき会のHPやむらさき会だよりでお知らせしませんか。
部活動のOB・OGの集まりなどの情報がございましたらお知らせください。

むらさき会令和6年度役員一覧

会長：田中 久子	編集：草間 紫温
副会長：野島 康子	編集：飯野 絢
副会長：加藤 充代	編集：鈴木 駿太
顧問：岡 實	事務局：猪鼻 光
顧問：平野 正美	
顧問：中山 達朗	

編集後記

今回は、「山村学園創立100周年記念事業」において、むらさき会として多くの支援をさせていただきました。所沢市のペルーナドームで11月14日に開催された「100周年記念祭」および「記念誌の発行」に加え、「山村学園高校」と「山村国際高校」の両校へも、希望に沿った「100周年記念事業費」を寄贈しました。さらに、むらさき会入会式には記念の「布製トートバッグ」を贈呈しました。これらの活動は、関係役員の皆さまのご協力のおかげで無事に終了することができました。また、お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆さまにも心より感謝申し上げます。これからも、卒業生として母校の発展を支援して参りましょう。

住所・氏名等の変更、むらさき会へのご意見、ご要望がございましたら下記の連絡先までご連絡をください。

<むらさき会連絡先> 〒350-1113埼玉県川越市田町16-2 TEL:049-225-3565